



 Be the best **SPICE!**

証券コード：4406

株主の皆様へ

第153期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

 **新日本理化株式会社**
New Japan Chemical Co., Ltd.



Be the best **SPICE!**





主力製品のサプライチェーンを強化し安定供給を確保する一方、環境分野を中心とした新規事業の育成に注力してまいります。

代表取締役 社長執行役員 三浦芳樹

経営理念

私たち新日本理化グループは、もの創りを通して広く社会の発展に貢献します。

Vision2030 ～2030年のありたい姿～



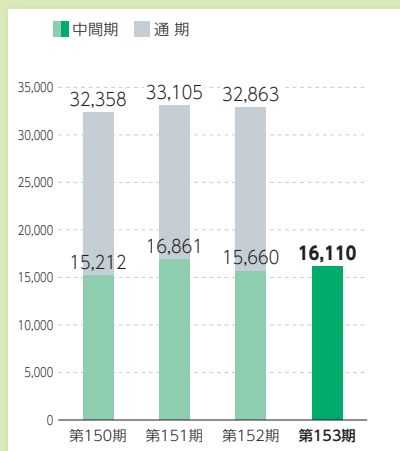
～心躍る極上のスパイスになる～

キラリと光る唯一無二の個性をもった素材のスパイスで、世界をより、健やかで豊かなものに、毎日をもっと、心ときめくものに。

財務ハイライト (連結)

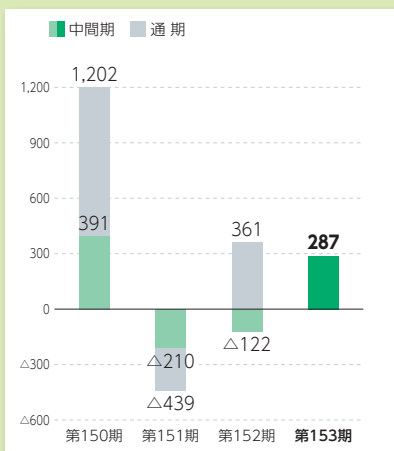
●売上高

(百万円)



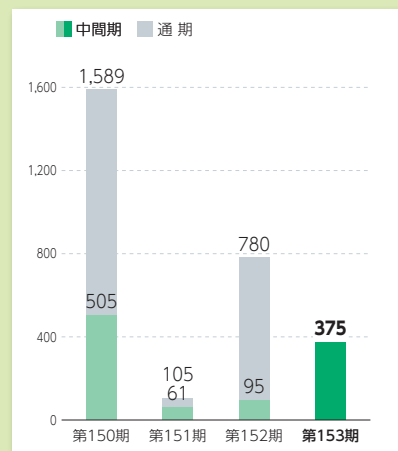
●営業利益又は営業損失(△)

(百万円)



●経常利益

(百万円)



事業の概況

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第153期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)における概要をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における世界経済は、長引く不動産市場の低迷と低調な個人消費により中国経済の成長が鈍化した一方、緩やかな景気回復が見られた欧州経済と堅調な米国経済に支えられ、底堅く推移しました。国内経済においては、好調なインバウンド消費に加え、景況感の改善から企業の設備投資が伸長するとともに個人消費が回復へ転じるなど、全体として緩やかな回復基調となりました。

しかしながら、当社グループを取り巻く環境においては、国際情勢の緊迫化を背景としたエネルギー価格の変動が続いているほか、異常気象の増加がパーム油の生産量に与える影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のなか、当社グループは、2024年6月に修正いたしました中期経営計画(2021年度~2025年度)に基づき、モノづくり力の向上と事業ポートフォリオの組換えに注力しております。当中

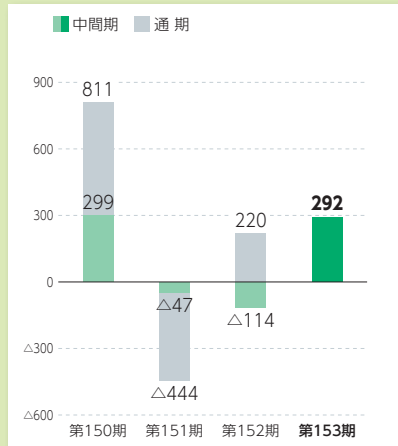
間連結会計期間におきましては、調達ソースの多様化や設備稼働データ解析による予防保全、品質管理の徹底によるロス低減など安定生産・安定供給を確保する体制構築を進めたほか、製品ラインナップの見直しや需要拡大を見込む環境貢献製品の開発・用途開拓など、事業構造転換に向けた取り組みを推進してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、161億1千万円(前年同期比2.9%増)となり、損益面では、営業利益2億8千7百万円(前年同期は営業損失1億2千2百万円)、経常利益3億7千5百万円(前年同期比291.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2億9千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1億1千4百万円)となりました。

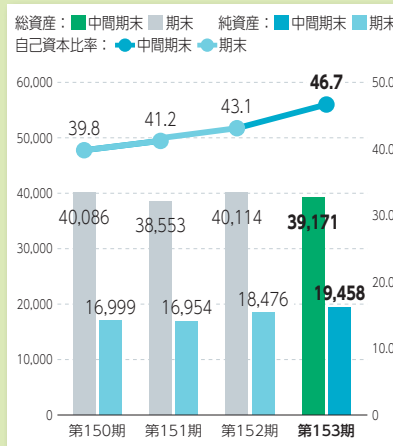
なお、中間配当につきましては、業績および財務状況、今後の経済情勢等を総合的に勘案し、見送りとさせていただきます。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

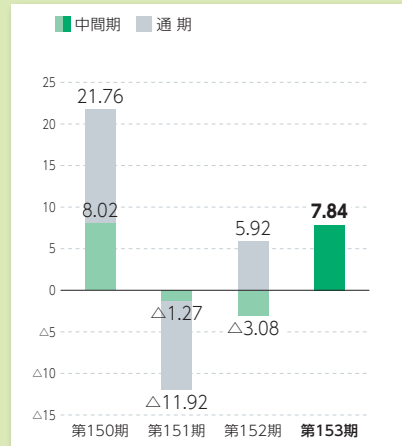
● 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益
又は親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)(百万円)



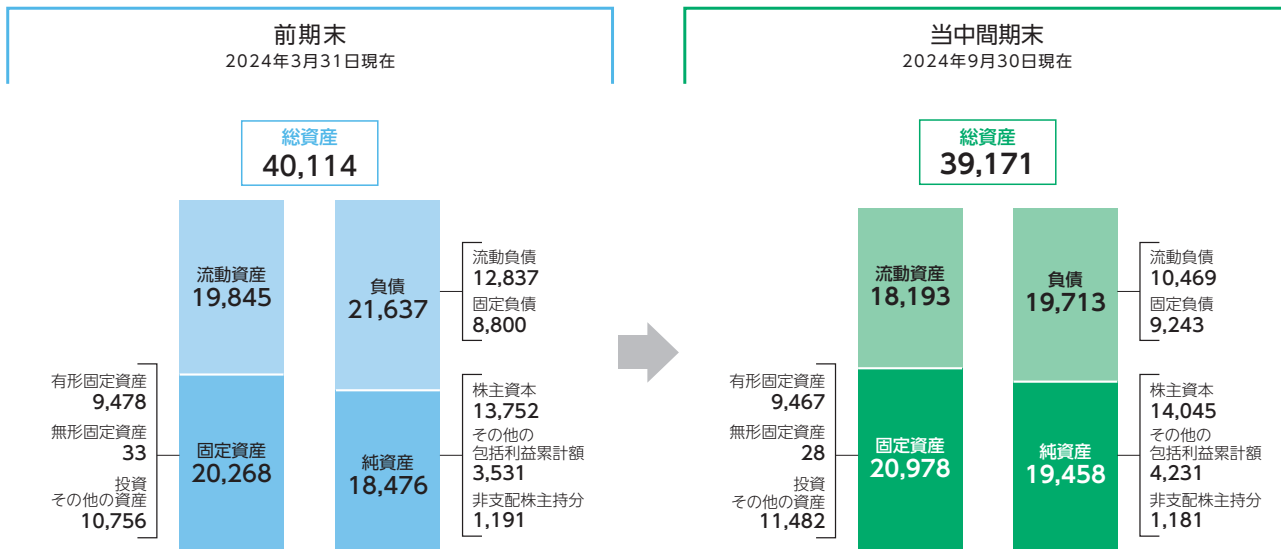
● 総資産・純資産・自己資本比率 (百万円・%)



● 1株当たり中間(当期)純利益
又は1株当たり中間(当期)純損失(△) (円)

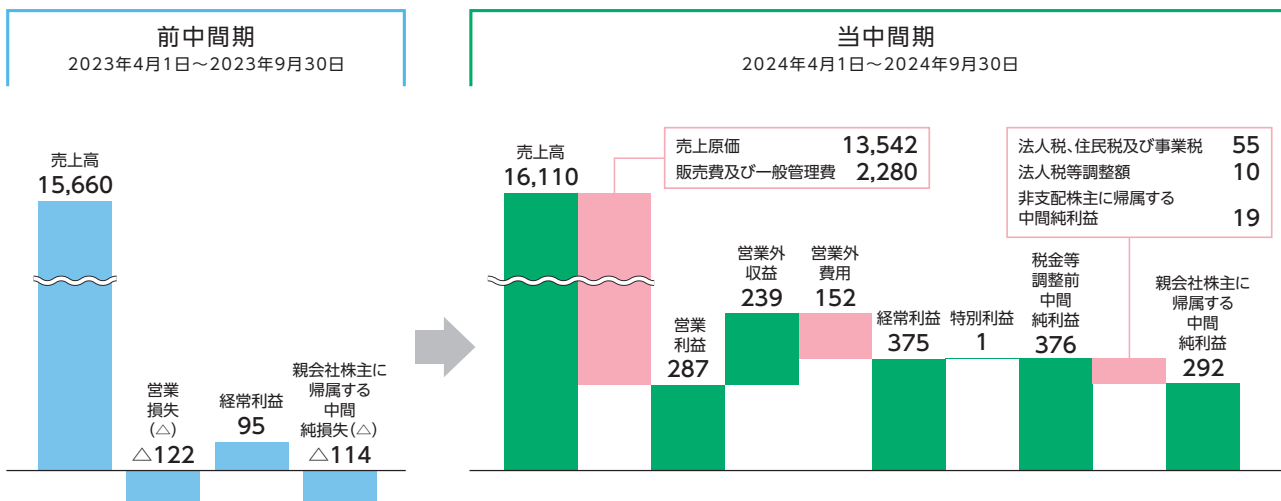


● 中間連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 中間連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社の事業内容



主要製品の概況

オレオケミカル

ステアリン酸の生産停止(23年6月)を受け、全体の数量・売上高は前年比減となったものの、需要が回復した界面活性剤および高級アルコールの販売は好調に推移しました。

可塑剤

国内需要が振るわない中、安価な海外品とのシェア争いが激化したことを受け、数量は前年を下回りました。しかしながら、原料高騰に応じた製品価格改定が浸透した結果、売上高は増加しました。

合成樹脂原料

内需が低迷する中国からの輸出増によりアジア市況が下落したものの、日本国内の需要が堅調だったことに加え、電子材料向けに新規採用が決まったことから、数量・売上高ともに増加しました。

機能性化学品

欧州でのポリオレフィン樹脂の需要増加を受け結晶核剤の輸出が好調に推移したほか、アジア向け医薬品原料の販売増加も追い風となり、数量・売上高ともに前年を上回りました。

中期経営計画 2021～2025

新日本理化は、Vision2030「Be the best SPICE！」の実現に向け、2025年度までの5ヶ年の中期経営計画を策定の上、事業構造および組織風土の変革を推進しています。



Be the best SPICE!

●基本コンセプト

- ◆環境・社会・人（命）に関わる課題に果敢にチャレンジし、価値創造企業を目指す。
- ◆情報・通信、モビリティ、ライフサイエンス、環境ソリューションの4領域に経営資源を集中し、成長戦略を実現する。

●経営目標（2025年度）※2024年6月修正

売上高…………… 340億円
 営業利益…………… 8億円
 ROE …………… 6.0%

主要戦略と2024年9月までの取組み状況

戦 略		取組みと成果
ポートフォリオ 組換えの加速	<ul style="list-style-type: none"> ○製品ラインナップ見直しに対応しうる、フレキシブルな生産・販売体制を構築する。 ○新規事業として環境貢献製品のビジネスを拡大する。 ○グループ海外拠点を起点に海外ビジネスを拡大する。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓海外の生産機能拡充に向け、現地企業と提携交渉。 ✓成長市場向け製品ラインナップ拡充とノンコア製品の販売中止により事業の絞込みを進める。 ✓環境負荷低減製品・バイオマス由来製品の開発と用途開拓を推進。 ✓欧州での樹脂添加剤需要の拡大を受け増産に向けて対応中。
モノづくり力の 向上	<ul style="list-style-type: none"> ○調達ソースを多様化し、サプライチェーンを強化する。 ○生産・設備情報のデジタル化を進め、生産性と品質の向上を両立させる。 ○品質管理を高度化し、高純度品の安定生産を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓調達リスクの可視化と新規サプライヤー評価を実施。 ✓設備稼働データの解析により、異常の早期発見と品質安定化を可能にする。対象設備を拡大中。 ✓研究開発－品質管理の連携強化で品質力を底上げ。 ✓生産計画の精緻化と在庫適正化のため、新生産管理システムの構築に着手。
人的資本の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○多様で柔軟な働き方を可能にし、多様な価値観を持った人材の採用・登用を促進する。 ○組織と人材の開発を両輪で進め、人的資本のパフォーマンスを最大化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓キャリア採用の拡大 ✓女性の管理職登用を促進（2023年度末割合：7.0%） ✓定期的な1on1実施による課題共有とキャリア支援 ✓人事制度における年功要素削減と各等級の役割明確化

会社概要

● 会社概要 (2024年9月30日現在)

社名	新日本理化株式会社
本社所在地	大阪市中央区備後町二丁目1番8号 備後町野村ビル
設立	1919 (大正8) 年11月10日
資本金	5,660,863,449円
従業員数	404名 (連結)
営業所	大阪 (本社)、東京
工場	京都、徳島、川崎、堺
研究所	京都

● 重要な子会社および関連会社 (2024年9月30日現在)

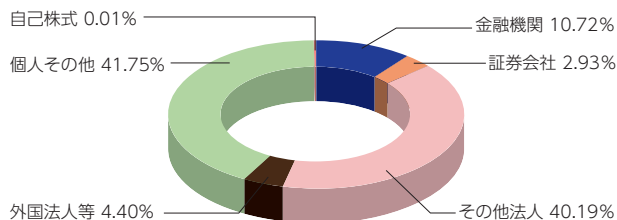
連結子会社	日新理化株式会社／アルベス株式会社
	日東化成工業株式会社／NJC Korea Co.,Ltd.
持分法適用会社	Edenor Oleochemicals Rika (M) Sdn.Bhd. 台湾新日化股份有限公司

株式の情報

● 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	37,286,906株 (うち自己株式3,897株)
株主数	10,395名

株式分布状況 (所有者別)



● 取締役 (2024年9月30日現在)

代表取締役 会長執行役員	藤本万太郎
代表取締役 社長執行役員	三浦芳樹
取締役 常務執行役員	盛田賀容子 営業本部長
取締役 執行役員	中川真二 社長補佐 企画管理本部長
社外取締役	松本恵司
社外取締役	柳瀬英喜
取締役 (常勤監査等委員)	川原康行
社外取締役 (監査等委員)	織田貴昭
社外取締役 (監査等委員)	竹林満浩

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ワイエムシィ	3,534,900	9.48
株式会社YMCインベストメント	2,120,100	5.69
株式会社りそな銀行	1,860,533	4.99
フクダ電子株式会社	1,199,000	3.22
日油株式会社	922,875	2.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	883,200	2.37
野村貿易株式会社	850,100	2.28
ダイソーケミカル株式会社	758,900	2.04
三井住友海上火災保険株式会社	661,600	1.77
KHネオケム株式会社	609,000	1.63

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	臨時に必要な場合は、その都度公告いたします。 電子公告とし、当社ホームページ (https://www.nj-chem.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	4406
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) [受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/

◆株式に関するお手続きについて

お手続き内容		お問い合わせ窓口
・氏名、住所の変更 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・配当金の振込先指定 ・その他株式に関するお問い合わせ	証券会社の口座で株式をご所有の株主様	お取引の証券会社
	特別口座で株式をご所有の株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社
・未受領の配当金に関するお問い合わせ ・郵便物に関するお問い合わせおよび再送付のご依頼	すべての株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社

株主の皆さまの 声をお聞かせください


コエキク

当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではありますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp> アクセスキー

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

